

様式11 指定管理者制度活用事業 評価シート

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	生田緑地、川崎市岡本太郎美術館、川崎市立日本民家園、川崎市青少年科学館	評価対象年度	令和5年度（令和5年4月～6年3月）
事業者名	・事業者名 生田緑地共同事業体 ・代表者名 株式会社日比谷花壇 代表取締役社長 宮島 浩彰 ・住所 東京都千代田区内幸町1丁目1番1号	評価者	建設緑政局緑政部生田緑地整備事務所長 市民文化局市民文化振興室岡本太郎美術館副館長 教育委員会日本民家園長 教育委員会青少年科学館長
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日	所管課	建設緑政局緑政部生田緑地整備事務所 市民文化局市民文化振興室岡本太郎美術館 教育委員会日本民家園 教育委員会青少年科学館

2. 事業実績

利用実績	<p>【生田緑地】利用者数：757,193人、駐車場利用台数：83,749台（内訳：東口駐車場：57,692台、西口駐車場：25,766台、生田臨時バス駐車場：291台）、東口ビジターセンター利用者数：242,814人、西口サテライト利用者数：13,053人</p> <p>【岡本太郎美術館】利用者数：109,518人</p> <p>【日本民家園】利用者数：115,373人</p> <p>【青少年科学館】利用者数：238,240人</p>																																																																																														
収支実績	<p><収入>指定管理料：489,000千円、利用料金収入（駐車場）：49,024千円、その他収入（売店等）：14,074千円、雑収入（協賛金等）：5,259千円 計：557,358千円</p> <p><支出>管理運営経費等568,336千円（うち間接経費（本部経費）27,064千円） 計：568,336千円</p> <p><収支差額>▲10,978千円</p> <p><（別掲）自主事業> 収入：16,075千円、支出：3,691千円 収支差額：12,384千円</p> <p>※電気料金等の高騰に伴い、リスク分担により、費用増加分の半額（約3,496千円）を市が補填予定。補填後の収支差額は、▲7,482千円（参考値）。</p>																																																																																														
収支内訳	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">■管理運営</th> </tr> <tr> <th></th> <th>全体</th> <th>緑地</th> <th>美術館</th> <th>民家園</th> <th>科学館</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><収入></td> <td>557,358</td> <td>178,991</td> <td>139,315</td> <td>150,601</td> <td>88,451</td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td>489,000</td> <td>128,225</td> <td>134,936</td> <td>138,836</td> <td>87,004</td> </tr> <tr> <td>利用料金収入（駐車場）</td> <td>49,024</td> <td>49,024</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>その他収入（売店等）</td> <td>14,074</td> <td>991</td> <td>1,848</td> <td>11,128</td> <td>106</td> </tr> <tr> <td>雑収入（協賛金等）</td> <td>5,259</td> <td>750</td> <td>2,532</td> <td>637</td> <td>1,341</td> </tr> <tr> <td><支出></td> <td>568,336</td> <td>180,379</td> <td>147,338</td> <td>150,409</td> <td>90,210</td> </tr> <tr> <td>管理運営経費等</td> <td>568,336</td> <td>180,379</td> <td>147,338</td> <td>150,409</td> <td>90,210</td> </tr> <tr> <td><収支差額></td> <td>-10,978</td> <td>-1,388</td> <td>-8,023</td> <td>192</td> <td>-1,758</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">■自主事業</th> </tr> <tr> <th></th> <th>全体</th> <th>緑地</th> <th>美術館</th> <th>民家園</th> <th>科学館</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自主事業収入</td> <td>16,075</td> <td>12,084</td> <td>890</td> <td>2,685</td> <td>416</td> </tr> <tr> <td>自主事業支出</td> <td>3,691</td> <td>2,090</td> <td>490</td> <td>980</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>自主事業収支差額</td> <td>12,384</td> <td>9,994</td> <td>400</td> <td>1,705</td> <td>286</td> </tr> </tbody> </table>					■管理運営							全体	緑地	美術館	民家園	科学館	<収入>	557,358	178,991	139,315	150,601	88,451	指定管理料	489,000	128,225	134,936	138,836	87,004	利用料金収入（駐車場）	49,024	49,024	-	-	-	その他収入（売店等）	14,074	991	1,848	11,128	106	雑収入（協賛金等）	5,259	750	2,532	637	1,341	<支出>	568,336	180,379	147,338	150,409	90,210	管理運営経費等	568,336	180,379	147,338	150,409	90,210	<収支差額>	-10,978	-1,388	-8,023	192	-1,758	■自主事業							全体	緑地	美術館	民家園	科学館	自主事業収入	16,075	12,084	890	2,685	416	自主事業支出	3,691	2,090	490	980	130	自主事業収支差額	12,384	9,994	400	1,705	286
■管理運営																																																																																															
	全体	緑地	美術館	民家園	科学館																																																																																										
<収入>	557,358	178,991	139,315	150,601	88,451																																																																																										
指定管理料	489,000	128,225	134,936	138,836	87,004																																																																																										
利用料金収入（駐車場）	49,024	49,024	-	-	-																																																																																										
その他収入（売店等）	14,074	991	1,848	11,128	106																																																																																										
雑収入（協賛金等）	5,259	750	2,532	637	1,341																																																																																										
<支出>	568,336	180,379	147,338	150,409	90,210																																																																																										
管理運営経費等	568,336	180,379	147,338	150,409	90,210																																																																																										
<収支差額>	-10,978	-1,388	-8,023	192	-1,758																																																																																										
■自主事業																																																																																															
	全体	緑地	美術館	民家園	科学館																																																																																										
自主事業収入	16,075	12,084	890	2,685	416																																																																																										
自主事業支出	3,691	2,090	490	980	130																																																																																										
自主事業収支差額	12,384	9,994	400	1,705	286																																																																																										
サービス向上の取組	<p>エネルギー価格の高騰による経費の増加や、猛暑による外出控えの中、レジャーの選択肢が広がり利用者数の減少が懸念される厳しい環境の中で、様々な工夫により、次のとおりサービス向上の取組を行った。</p> <p>【適切な人員配置】 各スタッフが普段から緑地内の各施設の業務を把握・理解し、大規模なイベント時や急な欠員に際し、施設間のスタッフ融通や本部からの応援により柔軟かつ適切に対応するなど、管理運営に支障を来すことなく円滑に行った。</p> <p>【利用マナーの向上】 生田緑地では犬の散歩で訪れる利用者も多いため、飼い主向けのマナー講座を行うとともに、将来を見据え、生田緑地のルールである「持ち出さない」「持ち込まない」の啓発キャラクターである、「モチコマン」「モチダサン」「とりたま」のダンスをイベントで披露したほか、ぬりえコーナーの設置を行うなど、子ども向けの取組を行った。</p> <p>【行事・イベント】 昨年度から開催している「お月見フェスタ」では、広報として、多摩区に加え宮前区の全小学校の児童にチラシを配布し、プログラムにおいても、生田緑地キャラクターとお月見フォトスポット、消防車撮影ブースの設置、大道芸人パフォーマンスを行うなど、ファミリー層を意識した取組を展開するとともに、ワークショップや飲食を増やし、前年度に課題となった各ブースでの待ち時間の解消を図るなど、利用者満足度向上に向けた取組を行った。</p> <p>【緑地内の安全対策】 緑地内の定期巡回の他、大型台風やゲリラ豪雨などの通過後に緑地内点検を行い、危険箇所等について、市やスタッフ間に情報共有を図り、立入禁止のコーン設置や掲示を迅速に行うとともに、利用者の動線確保を図った。また、東口駐車場において逆走する事例が頻発したことから、場内の誘導ラインの塗り直しを行い、事故の未然防止を図った。</p> <p>【利用者の利便性に配慮した駐車場の管理運営】 市都市公園条例の改正に伴い、令和5年度から駐車場利用料金が値上げされる中で、活動団体を対象とした減免や平日における上限額の設定を行うなど、利用者等の利便性を考慮した柔軟な対応を行い、ほぼ苦情なく、円滑な管理運営を行った。</p>																																																																																														

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者満足度調査を適切に実施しているか	8	4	6.4
		利用者満足度は向上しているか			
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
	事業成果	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	6	3	3.6
		当初の事業目的を達成することができたか			
	協働の取組	生田緑地マネジメント会議の事務局として適切な運営を行っているか	8	4	6.4
		市民との協働により適切な維持管理及び自然環境の保全を図っているか			
		新たな担い手の発掘に向けた取組を実施しているか			
	魅力の向上	伝統工芸館について、生田緑地の活性化につなげる活用ができたか	8	4	6.4
		施設間の連携・多様な主体との連携により生田緑地全体の魅力の向上が図られているか			
		生田緑地全体広報が戦略的に展開され、魅力発信できているか			
	<p>(評価の理由)</p> <p>【利用者満足度】</p> <p>●利用者満足度を把握するため、常設アンケート調査を適切に実施した。アンケート調査の利用者満足度では、令和5年度は約59%の利用者から「とても満足した」、約38%の利用者から「満足した」との評価を得ており、合わせて約97%の利用者から「満足した」以上の評価を得て、引き続き高い評価となった。(参考：令和2年度約94%、3年度約97%、4年度約95%)</p> <p>【事業成果】</p> <p>●月次及び四半期毎のセルフモニタリングを実施するとともに、苦情・要望について情報共有し、必要な改善や対策を行いながら利用者満足度の向上に努めた。事業計画にて設定した「マルシェをはじめとしたイベント開催の充実」「媒体への露出アップに向けた情報発信」「100周年・都市緑化フェア記念プレ事業への協力」等について、計画通り達成したと認められる。</p> <p>・緑地及び各施設の来園(館)者数については、岡本太郎美術館は目標比約132.7%、民家園では目標比約113.4%となるなど、ほぼ目標を達成した。(前年度比約100.9%)</p> <p>・マルシェについては、回数を増やし、地元飲食店の出展機会を拡充するなど、地域の活性化を図った。</p> <p>・情報発信については、市の観光施策担当部署や観光協会と連携しPR強化に努めるとともに、国内外に向けた発信強化を図った。</p> <p>・市の次の100年に向けて、共に「あたらしい川崎」を生み出していくため、市制100周年、緑化フェアのプレ事業となる「登戸・遊園ミライノバ ハレの日」にイベント出展し、「まちと自然」を意識し、参加者とともに生田緑地の落ち葉を活用したツリーモニュメント制作を行ったほか、民家園では、緑化フェアの会場装飾用の藍染装飾の企画に携わるなど、市制100周年や緑化フェア開催に向けた連携・協力を行った。</p> <p>・協働の後継者育成にも目を向け、里山の自然学校卒業生である川崎総合科学高校生徒との「外来生物講座」及び「ワークショップ」を開催した他、日本女子大学と連携した環境保全・保護をテーマにしたダンス制作・披露を行うなど、生田緑地の将来を見据え、子どもたちが親しみやすい取組を強化した。</p> <p>・キャッシュレス化の推進に向け、通信面での改善を図りながら、駐車場や自販機においてキャッシュレス対応機導入を行った。</p> <p>・安全安心な取組の推進に向け、緑地内の全自販機を災害対応型(災害ベンダー)に変更した。</p> <p>【協働の取組】</p> <p>●生田緑地マネジメント会議及び自然環境保全管理会議の事務局として適切な運営を行ったほか、「緑化フェア」「生田緑地ビジョン改定」「目標とする自然」の3つのプロジェクト会議の運営を行う等、多大な貢献をした。特に、「緑化フェア」「生田緑地ビジョン改定」では市の意見聴取のとりまとめに協力を行うなど、大きな役割を果たした。</p> <p>●里山倶楽部と協議の上、ナラ枯れの原因となる菌を媒介するカシノナガキクイムシの死滅と林床保全を目的とした玉切り作業を実施するとともに、もみじ会・飛森谷戸の自然を守る会・雑木林を育てる会の3団体と連携し、初山地区の圃場にて育成した生田緑地産のクスギ苗を各団体の活動エリアに移植するなど、生田緑地の自然の保全・利用方針に基づき、市民団体との協働や活動支援を行い、適切な維持管理及び自然環境の保全を行った。</p> <p>●ナラ枯れ被害の発生による緑地内環境の激変に伴い、明治大学倉本教授を主幹とした生田緑地の目標とする自然を考え直すためのプロジェクトの立ち上げに寄与した。</p> <p>●ボランティア活動の新たな担い手づくりのため、登戸・遊園地区の新しい住民の参加に向けたイベント(「登戸・遊園ミライノバ ハレの日」)出展や、団体に属さず気軽に参加できる「ゆるボラ」の取組として、東口VCの花壇植替え作業などを行った。</p> <p>【魅力の向上】</p> <p>●伝統工芸館内での藍染のワークショップやミニ展示の実施、藍を基調とした民家園webサイト内の特設ページの運用、新商品の開発や通販事業への積極的な参加を通して多くの人に藍染の美しさ・すばらしさを発信することを通して、民家園のみならず生田緑地の魅力の向上に寄与した。</p> <p>●生田緑地とその周辺の見学性向上を目的に、緑地にある美術館、民家園、科学館、藤子・F・不二雄ミュージアムの4館と登戸行政サービスコーナーを巡るスタンプラリーを開催し、昨年度を上回る約13,300人が参加した。</p> <p>●「カラダを動かし、ココロを躍らせ、生田緑地で健康に」をテーマとしたスプリングフェスタを開催。専修大学や川崎医療生協等と連携し、かけっこの極意、プレイグリーンパーク、ポールウォーキング、焼き芋・薪割体験、伐採木を活用したチェーンソーアート等をコンテンツに、飲食や物販などのブースも出店し、開催した。天候不順な時期でもあり、コンパクトな形での実施となったが、春のイベントとしては、前年、前々年を上回る4,752人が来場するなど、好評を博した。</p> <p>●HPやSNSにおいて、緑地及び各館のイベントや展示、四季の見どころの発信に加え、緑地内での日々の小さな気づきや発見をこまめに投稿し、生田緑地公式のHPでは最初の1ページしか閲覧しなかった直帰率が30%台、生田緑地公式のXではフォロワー数が6,000人(3月度)を記録するなど、緑地の魅力を幅広い層に情報発信できるよう工夫しながら投稿を行った。</p> <p>●美術館の自主事業として、指定管理者の特性を活かしたフラワーレッスンの他、キッチンカーを西口広場に誘致し、美術鑑賞にもう1つの楽しみを提供するなど、付加価値を高める取組を行った。</p> <p>●民家園の自主事業として、古民家とモミジのライトアップにあわせ、日本酒の試飲と日本酒文化の講義の他、日本酒の販売を行い、「学び」と「愉しみ」の両面から日本酒に触れる「日本酒講座」を開催し、参加した8割の方が次回の参加を希望するなど好評を博した。</p> <p>●科学館の自主事業として、科学館のキャラクターや生田緑地のオリジナル素材を使用したワークショップを、例年の冬休み・春休み期間の平日に加えて7月の日曜日にも開催し、生田緑地に親しみをもってもらう機会の拡充を図った。</p>				

収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	6	3	3.6	
		支出に見合う効果は得られているか				
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか				
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	6	3	3.6	
		収入増加のための具体的な取組が為されているか				
	適切な金銭管理・会計手続	入館・入園料収入や釣銭等について適切に管理を行っているか	4	3	2.4	
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
	<p>(評価の理由)</p> <p>【効率的・効果的な支出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電気料金の高騰に伴い、結果として経費が大幅に増加したものの、節電に関する意識向上を徹底し、必要最低限以外の空調機の停止や照明の間引き、不要箇所の消灯、ピークコントロール見直しによる単価上昇抑制と小まめな温度管理を行うなど、最大需要電力を抑える工夫を重ねながら、コスト削減に努めた。 ●消耗品について、購入先の比較や横断的管理運営を生かした一括購入によりコスト削減を図った。 ●コスト意識を徹底し、東口駐車場のライン引き直しなど、可能な限り外注と直営で実施した場合のコスト比較を行いながら作業を実施し、コスト削減を図った。 <p>【収入の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自主事業では、利益率の高い森のマルシェを11月や3月の多客が見込まれる時期には土曜日にも開催するなど、回数を増やし、収入の確保につなげた。また、生田緑地にまつわるオリジナルのポストカード、一輪挿し、カード立てオリジナル星座缶バッジ、藍染め商品等の商品開発を行ったほか、特に民家園では、無料開園日には本館ショップを「藍染めフェア」会場とし、大型の作品や普段本館ではあまり取り扱いのない商品を展示・販売するとともに、オンラインショップでの販売にも注力するなど、新たな収入源の確保に努めた。 <p>【適切な金銭管理・会計手続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●納品書・請求書等の伝票管理を適切に行っており、報告書には支出費目ごとの内訳や月別・施設別の事業収支が添付されている。また、各館の観覧料を溜め置きしないよう入金ルールを徹底した上、大型連休の際は本社入金担当と連携し遅延のないよう実施したり、入金機の使用の際には個人コードでログインするセキュリティを強化するなど、適正な管理を行った。 					

サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	4	4.8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	6	4	4.8
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	6	4	4.8
		意見・要望の収集方法は適切だったか（十分な意見・要望を集めることができたか）			
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
<p>(評価の理由)</p> <p>【適切なサービスの提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●HPやSNS、広報誌等様々な媒体を活用し、各種イベントや植物の見頃、園内の一部通行止め等の情報について、幅広い年齢層に適時かつ十分な情報提供を行った。 ●西口広場でのピクニックフェスイベントの開催、菖蒲園の東屋を舞台としたLGBTをテーマとした能公演、プロカメラマンによる生田緑地撮影会を提案し、生田緑地の資源の有効活用や賑わいの創出の面から活用につなげ、利用者から好評を博した。 ●民家園通り商店会夏祭りへのワークショップ及びグッズ販売の出展、多摩区エコフェスタでのweb講座の開催、川崎日航ホテルの夏のイベントにおける、昔ながらの紙風船を使用した提灯作りワークショップの実施、「登戸・遊園ミライノバ ハレの日」でのツリーモニュメントの制作等、生田緑地の外での活動を積極的に行った。 ●美術館における券売機へのキャッシュレス決済やアプリによる音声ガイドの導入について、必要な案内等を適切に行った。また、多数の来館が見込まれる展覧会では、昨夏の展覧会の経験を活かし、券売機付近にスタッフを追加配置するなどチケットの買い間違いを抑制した他、会期中にも状況に応じ適宜運用を見直すなど、ほぼ苦情なく円滑な運営を行った。 <p>【業務改善によるサービス向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●実施計画どおりにサービスを提供できなかった場合は、毎月・4半期ごとのモニタリングで確認したうえで、その原因を追求し、次回以降はその改善点を踏まえて実施するよう努めた。 ●多摩区民祭時の自転車対策として、東口バス駐車場を臨時駐輪場とするなど、令和6年度の緑化フェアなどの大規模イベント開催を見据え、試行的に駐輪スペースを拡充するとともに、整理・誘導を円滑に行う等、臨機応変に対応した。 <p>【利用者の意見・要望への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●近隣住民からの草刈り・剪定等の要望や利用者からの苦情や要望に対して、迅速かつ適切に対応するとともに、状況に応じて速やかに市へ報告がなされた。毎月実施するセルフモニタリング等において苦情等の対応記録を市へ適切に報告された。 ●順次実施しているナラ枯れによる倒木の危険がある区域の通行止めについて、来園者に分かりやすいよう掲示物の説明方法を工夫するなど、利用者から意見がある度、改善を行った。また、ナラ枯れによる通行止めやタバコなどの利用ルールなどを適切な場所に掲示し、分かりやすい案内を行った。 ●近隣住民から寄せられた要望についてはデータ化を行い、草刈りや植栽管理などの要望が入る前に対応や予定を組んで作業が実施できるよう、毎年の案件は事前に対応を行い、近隣住民との信頼関係の構築を図った。 					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員（人数・有資格者等）が必要な場所に適切に配置されているか	4	4	3.2
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか	2	3	1.2
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか			
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか（人員配置、マニュアル、訓練等）	4	3	2.4
		緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか			
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール（規則・マニュアル等）と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	4	2	1.6
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか			
	環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか	2	3	1.2
	市内中小企業の活用	業務の一部委託において市内中小企業者を再委託者として選定しているか			
障害者雇用	積極的な障害者雇用が行われているか				
<p>（評価の理由）</p> <p>【適正な人員配置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●有資格者等必要な人員を不足なく配置するとともに、普段から各施設の担当者等が研修や情報共有を通じて他施設の業務も理解し、構成企業本部の応援体制も構築することにより、大規模なイベント時や急なスタッフの欠員に際し、人員を融通し、運営に支障を来すことがなかった。 <p>【連絡・連携体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各館の業務責任者や施設長等が参加する全体会議を定期的に開催し、情報共有の円滑化に努めた。また、各館の担当者等が参加する工程会議では、工事・展示関係による車両の進入情報や危険個所の情報、委託警備会社からの巡回警備の際に気づいた課題等を共有し管理運営を行った。 ●生田緑地整備事務所の市職員を含めた連絡体制を確立し、迷子やけが等の緊急時における各館への迅速な情報共有及び市への報告を速やかに行った。 <p>【再委託管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●毎月実施している所管課モニタリングにおいて日報や作業写真等の提出を受けており、適切に管理していることが確認できる。また、委託先の責任者がJV会議や全体会議に出席し、情報共有を図った。 <p>【担当者のスキルアップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各施設のスタッフが集まる研修の開催により各施設の課題の共有、活性化に向けたアイデアを話し合い、本部とも共有することにより、各施設の運営に生かした。 ●館内アナウンスを正確に伝えることで、サービス向上のみならず災害時の正確な情報の伝達につながることから、スキルの高いスタッフが講師となりアナウンス研修を行った。 <p>【安全・安心への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大雨、強風の際は、迅速にパトロールを行い、危険箇所を把握し、通行止めの措置等を適切に実施した。 ●東口VCの緊急避難場所開設に備え、多摩区役所と定期的に確認作業を行うとともに、近隣住民が集まる周辺施設でのイベント等に参加し、緊急避難場所としての役割について啓発活動を行った。 ●多摩警察署と連携し、青少年科学館において、スタッフを対象とした刺殺を使用した実践研修を実施するとともに、研修の実施についてメディアを媒介とした犯罪抑制を目的として報道各社に情報提供を行った。 ●災害時等の緊急時のライフラインとして、緑地内の全自販機を災害対応型（災害ベンダー）に変更した。 <p>【コンプライアンス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●リスクマネジメント（Pマーク・ハラスメント防止）に関して各施設でテキストを活用するとともに確認テストを実施し、スタッフのコンプライアンスに関する理解を深めるなど適切な運用に努めた。 ●令和6年6月に公式Xの誤配信が発生した。令和5年度からSNS発信に係る管理・監督体制が確立されておらず、不適切な運用が行われていたと認められる。 <p>【職員の労働条件・労働環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●植栽等の維持管理を担当する作業員を対象とした月1回の災害防止協議会の実施及び日常のこまめな体調管理の声掛け等により、前年度に引き続き無事故無災害となった。 <p>【環境負荷の軽減】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●民家園において、囲炉裏の火焚きで出た灰を使った藍液の作成や、藍染生地や着物地のハギレを使った、ヘアゴム、アクセサリーの販売を行った。 ●不要となった蛍光灯類の他館への融通や空調機器の切り忘れの確認、照明の間引きや不要箇所の消灯を徹底した。 ●「お月見フェスタ」において、オリジナルの「エコバッグ」や「ランチバッグ」を販売し、レジ袋を持たずに買い物できるよう配慮した。 ●軽微な木道補修等においては、剪定作業時に発生した材等を活用した。 <p>【市内中小企業の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「森のマルシェ」において、近隣の店舗を中心に来店してもらった他、清掃や植栽管理、警備業務等において、市内事業者を活用することにより、市内の経済の活性化を図るとともに、生田緑地に対するノウハウを最大限活用し、安全・安心な管理運営を行った。 <p>【障害者雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●民家園において、支障木の伐採や除草作業、竹垣の整備等の従事する職員の雇用を行った。 					

適正な業務実施	施設・設備・備品の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備・備品の保守点検や整備、整頓等を適切に実施しているか、また利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	8	3	4.8	
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。				
	外構・植栽管理(建物)	各施設の外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか	4	4	3.2	
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか 各施設の特性に合わせた清掃が行われているか				
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか 各施設の展示監視が適切に行われているか	4	3	2.4	
	樹木等管理	市及び委員会と協力し、緑地及び民家園における植栽・植生管理が適切に行われているか、また日本民家園における支障樹木管理が適切に行われているか	4	4	3.2	
		市民活動団体と合意形成を図りながら樹木管理を行っているか				
		(評価の理由) 【施設・設備・備品の保守管理】 ●年間業務計画に基づきそれぞれの施設の特性に合わせた適正な業務の遂行に努めており、業務日報等で適切に管理している。また、日常、定期点検を通じて設備不具合及びその兆候を発見した場合は、常駐技術員が対応・処置及び、状況により協力業者へ対応依頼を行った。また、各施設で設備・備品の管理簿を作成し、適切な管理、整頓を行うとともに、備品台帳の更新を行った。また、消耗品等の補充を適時かつ十分に行った。 【管理記録の整備・保管】 ●毎日の施設巡回により、設備や備品の不具合の早期発見と事故の未然防止に努めるとともに、管理記録を毎日の業務日誌に記録している。 【外構・植栽管理(建物)】 ●施設ごとの植栽管理方針に基づき、適切に草刈、剪定等を行い、利用者が快適に楽しめる空間を提供した。 ●新たな植栽が難しい生田緑地内において、企業の装飾技術を生かし、西口サテライトをはじめ、施設内等に季節ごとや行事等の際に、伐採木や造花を使用し、四季折々の装飾を行い、利用者から「この場所を通るのが楽しみのようになった」など好評を得た。 【清掃業務】 ●晴天時、民家園の除草作業の頻度を上げるため、ビジターセンタースタッフが清掃をサポートし、除草作業に人員を割く等の柔軟な対応を行い、「施設の清潔さ」についてのアンケート調査において、98%以上の利用者から「満足」以上の評価を得た。 ●母の塔前広場の床素材変更に伴い、清掃「注力」区域を見直し、屋外エレベータ動線上の苔の高圧除去を定期化、排水溝詰まりの監視、鳥ふん対応など要望と季節に応じた臨機応変な業務を実施した。 ●ナラ枯れ通行止め解除やばら苑の一般開放の準備のため、園路等の特別清掃を行うなど、利用者が快適に利用できる環境づくりに適した業務を臨機応変に実施した。 【警備業務】 ●近隣施設との情報交換を行い、イベント等を把握するとともに、時期や天候により駐車場の混雑が予測される際は駐車場警備を警備会社に委託し、車両及び歩行者の安全を確保した。 ●多摩警察署等と定期的に意見交換を行い、双方がいつでも相談しやすい環境づくりを行った。 【樹木等管理】 ●市と協力しながら、グループ会社と開発したアプリを活用し、ナラ枯れ被害木の調査を効率的に実施するとともに、本市及びマネジメント会議の各団体と連携し、伐採スケジュールや処理方法、優先順位等の調整を行った。また、枯れ枝は落枝等の危険があることから、特に強風時等は巡回を強化し、利用者の安全確保に努めた。さらに、園路沿い等、来園者に危険が及ぶ可能性がある被害木について、伐採を行った。 ●日本梅の会会長の監修の下、昨年に引き続き、梅園にて10株の植栽を行うとともに、例年実施している工程作業に加え、令和5年度は日照確保のための周辺樹木の伐採、降雪被害の迅速対応の他、市民の方と樹名板作成を行うなど、梅園の魅力向上に向けた空間づくりを行った。 ●民家園では、日常的に園路危険箇所(特にナラ枯れ木)や落枝・倒木の点検を通し、文化財建造物や来園者に危険となる支障木を適宜伐採するなど、適切な支障木管理を行った。				

4. その他加算

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
その他加算	市の政策課題への取組	資源循環や地域包括ケアの取組の推進	5	4	4
		<p>(評価の理由)</p> <p>●次のとおり、「川崎市持続可能な開発目標（SDGs）推進方針」及び「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」とともに、「生田緑地ビジョン」の基本理念である「豊かな自然・文化・人・まちがともに息づきみどりがつなげる持続可能な生田緑地の実現」に資する取組として認められる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽微な木道補修等においては、剪定時に発生した材等を活用した。 ・ナラ枯れ材を含め、緑地内で発生した材（26,973kg、軽トラック90台分）について、次のような取組に活用した。 <p>民家園の燻煙活動 薪の販売 東口VC薪ストーブ燃料 焼き芋焼き上げの燃料（明治大学農学部との協働により、サイズや形状の不揃いにより廃棄扱いのサツマイモの薪材として焼き芋づくりに活用） 大師公園の地域活性化イベント等、他施設イベントへの薪の提供 ヒマラヤスギのベンチ・テーブルへの活用（科学館前の伐採木の活用） 横浜保護観察所社会貢献活動や「ゆるボラ」活動における樹名板の作成 外来生物講座ワークショップ チェーンソーアート材（タヌキの木像が彫刻され、東口VCにて展示）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民家園での燻蒸作業で得られた灰を伝統工芸館で本藍の液を建てる際に使用したり、落ち葉を堆肥やカブトムシ飼育用の腐葉土として提供する活動を継続して行ったほか、ペール缶で炭を作って美術館前の水路の水質浄化剤として活用した。 ・児童発達支援施設での読み聞かせ等の青空保育開催への協力や、幅広い層が参加する健康づくりのヨガやピラティスのイベント、専修大学の陸上競技部やスポーツ研究所と連携したイベントの開催など、地域の交流や健康づくりの場としての役割を果たすなど、地域包括ケアシステムの推進に寄与する取組を行った。 			

5. 総合評価

評価点合計	74	評価ランク	B
-------	----	-------	---

※評価ランクの適用基準

評価ランク	適用基準（評価点合計）
A	総合評価の結果、特に優れていると認められる。（80点以上）
B	総合評価の結果、優れていると認められる。（70点以上80点未満）
C	総合評価の結果、適正であると認められる。（60点以上70点未満） ※標準点
D	総合評価の結果、改善が必要であると認められる。（50点以上60点未満）
E	総合評価の結果、問題があり適切な措置を講じる必要がある。（50点未満）

6. 事業執行（管理運営）に対する全体的な評価

<p>●生田緑地の課題の一つである飲食の提供については、西口広場でのキッチンカーを含むイベントの開催や、マルシェの回数を増やすなどにより充実が図られた。また、3館それぞれの特性を生かした自主事業等を実施し、参加者の99%から「よかった」以上の高評価を得る利用者満足度の高い自主事業を展開した。</p> <p>●近隣大学からインターンシップの学生を受け入れ、協働の中でイベントを成功させるなど、若者の活動への支援を行った。</p> <p>●市民団体との協働の取組として、市民活動に対し、自主性を尊重しつつ、さまざまな活動を支えた。また、樹木管理についても、継続的な調査によるナラ枯れの状況の把握、市民団体と連携した管理を行った。また、清掃等管理業務については、母の塔前広場の床素材変更に伴い清掃「注力」区域を見直し、屋外エレベータ動線上の苔の高圧除去を定期化した点や、日常の維持管理を着実にを行うことにより、清掃状況の満足度が高評価となっている。</p> <p>●令和5年度については、コロナの規制の緩和によるレジャーの選択肢の拡大や燃料の高騰などによる電気代の高騰など厳しい環境の中、節電等に努めるとともに、魅力ある事業を展開した点は評価できる。</p> <p>●令和6年6月に公式Xの誤配信が発生した。令和5年度からSNS発信に係る管理・監督体制が確立されておらず、不適切な運用が行われていたと認められる。</p>
--

7. 来年度の事業執行（管理運営）に対する指導事項等

<p>●「川崎市持続可能な開発目標（SDGs）推進方針」及び「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」とともに、「生田緑地ビジョン」（令和6年5月改定）の基本理念である「豊かな自然・文化・人・まちがともに息づきみどりがつなげる持続可能な生田緑地の実現」に資する取組について、緑化フェアの開催を契機としてさらに発展させていきたい。</p> <p>●ボランティア活動の継承に向け、既存の団体に所属せず気軽に取り組める「ゆるボラ」の活動を継続・発展し、新たな担い手確保につなげていきたい。</p> <p>●3館及び緑地でのイベント、ワークショップ等についてそれぞれ創意工夫により展開していただいているところであるが、横断的管理運営を生かし、館の垣根を超える取組等についてもさらに充実を図っていただきたい。</p> <p>●他施設等との連携を含め、緑地内の維持管理作業による発生材の有効活用に関する取組を継続・発展させていきたい。</p> <p>●引き続き、安全・安心かつ清潔な公園及び施設の維持管理に努めるとともに、創意工夫により効果的かつ効率的な支出及び魅力的な自主事業の実施等により収入の確保に取組み、収支のバランスに注意して業務を行っていただきたい。</p> <p>●公共施設の公式SNSを運用しているという責任を再認識し、SNS発信に係る運用体制の見直しや、スタッフに対する研修等を通じた周知・徹底など、再発防止に向けた取組を早急に進めていただいた上で、緑地の魅力向上に向けた広報のさらなる充実を図っていただきたい。</p>
